

連携プログラム提案

パノラマVRで共有も

安心計画

安心計画（福岡市、提案している。

小山田隆広社長）は、ウォークインホームDTS（東京都）が開で入力したプランデータを独自形式でウォークインホームに専用ウォールし、パソコン画面上でリアルな振動台実験ができる。他CADのC

EDXMでは対応不可
能な雑壁・端部、水平
構面情報が、独自開発
のダイレクト変換プロ
グラムにより高い精度
で連動している。

同じ物件で工法や耐
震等級を変えて同時に
比較でき、建物内部か
らの視点でのシミュレ
ーションも可能だ。ウ
ォールスタットの活用
前に、まずウォークイ
ンホームの構造チェッ
ク機能で、直下率

や偏心率などをプ
ランニングの段階でワ
ンタッチで計算。その
後ウォールスタットを
活用すれば、作業の手
間を減らせる。

I活用は意匠分野が先
行している。ただ小山
田社長は「工務店は住
宅の安全・安心面にき
ちんと配慮し施主に訴
求できなければ、他社
との差別化どころか選
ばれる業者の候補にも
入れない」と指摘する。

ある」と説明。また同
社は、360度パノラ
マVR作成共有ツール
「共有計画」も展開し
ている。共有計画では
動画や画像などを埋め
込んで作成したパノラ
マVRを、離れた場所

ムของผู้ザーからは
「ダンパーなどのデー
タも入ってくれば、よ
り身近なものになって
くるのではないか」と
いった声が寄せられて
いるという。

「住宅の営業マンなど
誰でも簡単に操作でき
るウォークインホーム
により「見える化」さ
すとウォールスタットが
連動したことに意味が

有計画で共有できる。

住宅プレゼンでのI

連動したことに意味が